



33

舟町通り ふなちょう



DATA・BOARD③③

- ① 栃木県下都賀郡壬生町通町
- ② 延長：324m，幅員：8.5～9.0m
- ③ 散策路，水路，橋，照明灯，案内板
- ④ 御影石，鑄鉄，銅板ほか



壬生町は、江戸時代に日光街道の宿場町として栄えたところで、利根川と通じる黒川を利用した水運も盛んであった。そのため、地域には五つの河岸があり、近隣地域から江戸に送られる物資の流通拠点としてにぎわった。

この河岸と壬生城下を結ぶ道路として、物資を積んだ馬や荷車が頻繁に往来していた道が「舟町通り」で、こうした歴史背景をもとに、新たな整備を行ったものである。

整備にあたっては、歩道、車道とも路面を御影石で舗装するとともに、落ちついた和風デザインと色調の街路灯やボラードを設けた。また、沿道には通りの由来を紹介した案内板を設置しており、地域の歴史を後世に伝える道、情緒のある生活空間として親しまれている。